

# 総合的な学習の時間における探究的な学習の進め方

## 1 探究的な学習とは

総合的な学習の時間における探究的な学習とは、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく図1のような一連の学習活動（探究の過程の連続）のことである。

探究的な学習の意義は、

- ① 事象をとらえる感性や問題意識が揺さぶられて、学習活動への取組が真剣になる
- ② 身に付けた知識・技能を活用し、その有用性を実感する
- ③ 見方が広がったことを喜び、更なる学習への意欲を高める
- ④ 概念が具体性を増して理解が深まる
- ⑤ 学んだことを自己と結び付けて、自分の成長を自覚したり自己の生き方を考えたりする

などの児童生徒の豊かな学習の姿が期待できる点である。

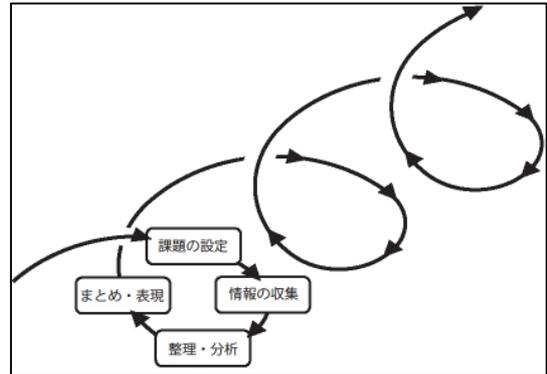


図1 探究の過程の連続

## 2 探究的な学習の学習過程

学習過程	内 容	留 意 点
課題の設定	体験的な活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ。	ア 事前に児童生徒の発達や興味・関心を適切に把握し、児童生徒の課題意識を高めるよう教師が意図的な働きかけを行う。 イ 課題意識を高めるために、課題の対象に直接触れる体験活動を工夫する。
情報の収集	必要な情報を取り出したり収集したりする。	ア インタビューなどの自覚的な情報収集や、体験を通して無自覚に行う情報収集など、様々な機会を設定する。 イ 収集した情報を、ポートフォリオ、ファイルボックス、コンピュータのフォルダなど、適切な方法で蓄積する。
整理・分析	収集した情報を、整理したり分析したりして思考する。	ア 調べる過程で収集したそれぞれの情報が関係付けられるように整理する。 イ どのような方法で整理・分析するのかを明確にする。
まとめ・表現	気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する。	ア 相手意識や目的意識を明確にしてまとめたり、表現したりする。 イ レポート、新聞、プレゼンテーション、ポスターなど、多様な方法でまとめたり、表現したりする。 ウ 各教科で学習したことを振り返らせ、どの表現方法が活用できるかを考えさせる。

### 3 学習活動の進め方……南九州市立知覧小学校第6学年の実践を基に再構成

#### (1) 課題の設定（「つかむ」段階）

つかむ段階では、図2のように児童（生徒）の実態把握を行い、児童（生徒）の意識と実生活での体験の「ずれ」や「隔たり」に気付かせるとともに、意図的な体験活動などの実施により、具体的な学習活動への課題意識を持たせる。

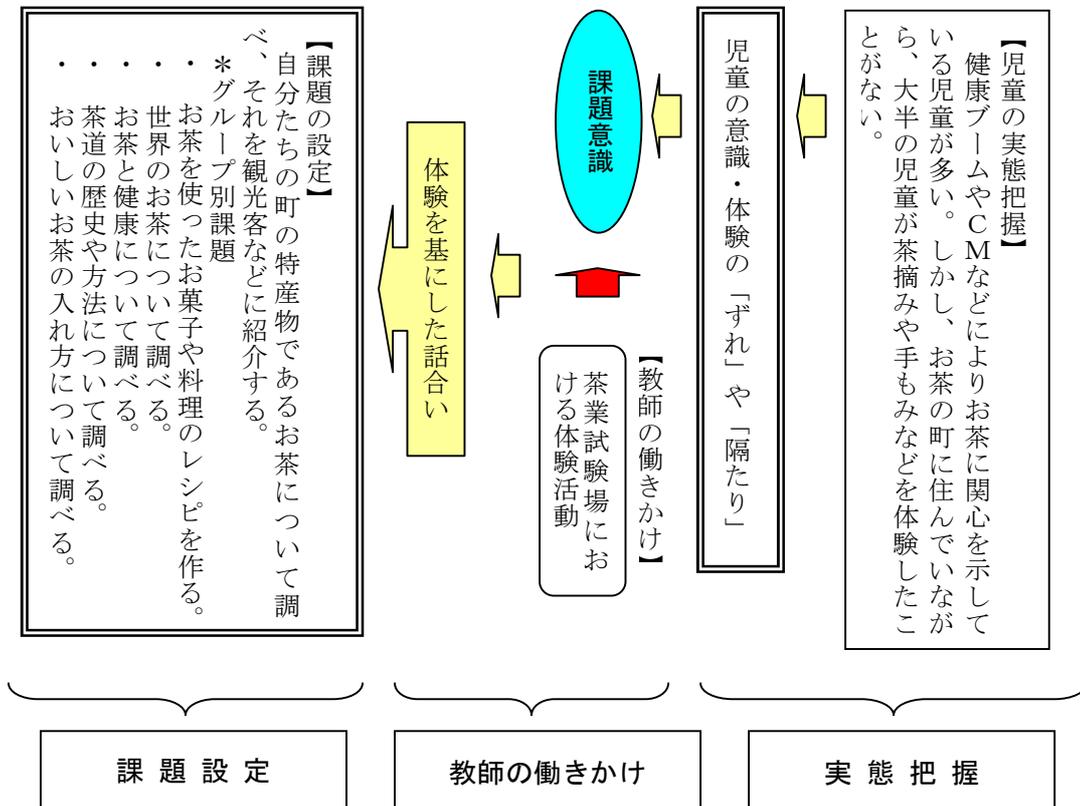


図2 課題設定の流れ

#### 【参考：ウェビングによる課題設定】

「ウェビング (webbing)」とは、あるテーマを設定し、個々人の経験や興味・関心に基づいてそこから派生する、あるいは関連するものを蜘蛛の巣 (web) 状に図式化して表現する手法である。(図3)

次のような効果が考えられる。

- ① 活動や題材の教材としての広がりを見る。
- ② 活動を通して、どのような学習内容を学ぶのかを明らかにする。(だれが・いつ・何のために)
- ③ 単元を通しての活動の流れを決める際の思考の地図となる。



図3 「紙」をテーマとした「ウェビング」例

## (2) 情報の収集（「調べる」段階）

観察・実験・見学・調査・探索・追体験などの学習活動を行うことにより、課題解決に必要な情報を収集する。

- おいしいお茶の入れ方について調べるグループでは、様々なお茶の入れ方によりどのように味が違うか、お茶インストラクターと一緒に実験を行った。



- ゲストティーチャー（茶道家）へのインタビューを行うなど、ねらいを明確にした情報収集も行った。

### 【情報の収集の手引の活用】

- \* 発達の段階に応じて内容や文言を工夫する。

### インタビューの手引（例）

#### ◇ インタビューする時

- ◆ 相手の貴重な時間をいただいていることを念頭に置く。

① 笑顔で聞く。

初対面の場合がほとんどですが、恥ずかしがっていると十分な情報を得ることができない。目的がはっきりしているので、自信をもち、笑顔でたずねよう。

② 何を聞きたいのか、相手に告げる。

目的をはっきり伝えておけば、途中で不明確な質問をしても、相手がこちらの真意をくみ取ってくれて、適切な答え(情報)を返してくれる。

③ 質問をしていく際の注意事項

- ・ 話の流れに注意し、自分たちの目的に合った質問をする。
- ・ うなずきながら聞く。(聞き手がうなずきながら聞いてくれるとうれしいものです。)
- ・ 相手の説明が一通り終わってから、次の質問をする。(話をさえぎったりじゃましたりしない)
- ・ わからないときはそのままにせず、もう一度聞き、解決してから次の質問をする。
- ・ 必ず簡単なメモを取る。(一つの質問に対し、一つのメモ用紙を準備しよう。)
- ・ 言葉遣いや態度などに注意し、相手に対して誠意をもって聞く。(きちんとした服装で!!)

#### ◇ インタビューが終わったら

① お礼をしっかりと言う。

「お忙しいところ、ありがとうございました。」など。後でお礼状を出すのもよい。

② 得られた情報を整理する。

印象が強いうちに、明らかになったことや新たに疑問に思ったことを整理し、報告書を作成する。

③ 各自のメモは、確実にクリアファイルに保管しておく。

④ 必要に応じて、メモはコピーして班員に配る。

## 施設訪問・見学の手引（例）

### ◇ 訪問・見学に行く前

- ① タウンページやインターネット、公的機関のパンフレットなどの資料から、施設の内容、開館時間やイベントなどについてあらかじめ情報を得ておく。
- ② 何のために訪問するのか、目的をはっきりさせる。
- ③ 何を見るのかを整理し、質問を考える。（質問に関しては、「インタビューの場合」を参照のこと。）
- ④ 記録の仕方を決め、役割分担を決める。
- ⑤ 訪問の約束を取る時点で、何が見学できるか、模擬体験ができるか、持参しなければならない必要なものがあるかなどを確認する。

### ◇ 訪問・見学をする際

- ① 写真やビデオの撮影許可を得る。撮影できない施設などがある場合も考えられるので、事前の確認が絶対に必要である。
- ② どのような研究をしていて、何をさせていただくのかを明確に伝える。
- ③ 担当者の指示に従い、安全に十分気をつけて見学する。  
特に、ビデオ撮影などの担当は、撮影に夢中になるあまり周囲が見えなくなるため、危険な場合が多い。
- ④ わからないことは、質問して解決しながら説明を聞く。簡単なメモを取ることを忘れずに。

### ◇ 訪問・見学が終わったら

- ① お礼をしっかりと言う。  
「お忙しいところ、ありがとうございました。」など。後でお礼状を出すのもよい。
- ② 得られた情報を整理する。  
印象が強いうちに、明らかになったことや新たに疑問に思ったことを整理する。写真は、どのような順番で撮影したか、必ず控えておく。
- ③ 各自の資料は、確実にクリアファイルに保管する。

## (3) 整理・分析（「整理する」段階）

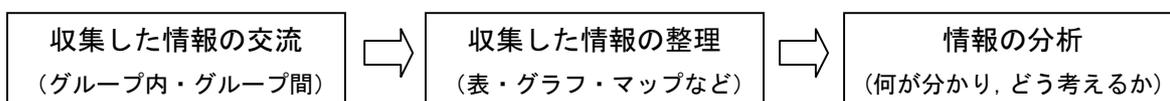


表1 内容による整理方法（例）

方法	内 容
年 表	・茶道の歴史 など
カード	・お茶を使った菓子や料理のレシピ ・世界のお茶の種類 など
グラフ	・温度の違いによるお茶のおいしさの違い ・お茶の効能 など
マップ	・お茶畑の分布図 など

## (4) まとめ・表現（「まとめる・活かす」段階）

まとめる・活かす段階では、整理・分析した内容を、他者に伝えたり、自分自身の考えとしてまとめたりする活動を行う。

### まとめの形態（例）

発表会・討論・ポスターセッション・劇・作文・新聞づくり・模型づくり  
ビデオ作成・プレゼンテーション など

## 【本実践におけるまとめ・表現の活動】

レシピ作り，紙芝居，ビデオ作成など，多様な方法でまとめを行い，最終的にそれらを基に，観光客に伝えるパンフレットを作り，配布している。

この活動は，多くの観光客が訪れる地域の特性を活かし，相手意識や目的意識をもたせると同時に，児童に自分たちも地域の一員であるという自覚を促し，今後，自分は何をすべきか，どのようにすべきかを考えさせるきっかけになる取組といえる。

このことは，総合的な学習の時間の目標である「自己の生き方を考えることができるようにする」ことにもつながる。

## 【学習の仕方の習得】鹿児島市立西紫原小学校の実践から

### なっとくカード ～ 話し編 No.2

#### 【ポスターセッション】

○「ポスターセッション」とは，何人かの発表者が，ポスターを元に自分の意見を発表するミニ発表会のようなものです。

#### 1 準備をしよう

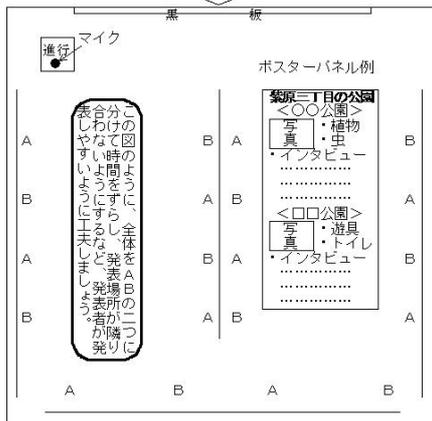
- (1) 日時・場所・運営委員・進行を決めよう。
- (2) 発表原稿や資料作りをしよう。
- (3) 運営委員は，誰が，どんなことを発表するかまとめ，みんなに知らせよう。

#### 2 ポスターセッションをしよう

【ポスターセッションの例】  
会場図

広幅用紙に，会場図とそれぞれのテーマを書き，会場前面にはらう。

・発表者○○○○ ・発表テーマ



#### (4) 注意点

- ※「ポスター」は壁新聞ではありません。発表者はポスターを読むものではありません。ポスターには短い言葉でわかりやすく書き説明を言葉できるようにしましょう。
- ※聞き手は，説明を真剣に聞き，発表者に質問や意見が言えるようにメモなどをとりましょう。
- ※時間内に発表・意見交換をすませられるようにしましょう。時間が足りないときは発表者に意見を書いてメモを渡しましょう。

### なっとくカード ～ まとめ方編 No.14

#### 【げき】

○調べたことをげきにすると，とても分かりやすく，みんなが楽しめる発表になる。

#### 1 どんなげきにするか考えよう

- (1) 係ぶんたんをしよう
  - ・台本係 (セリフや動作)
  - ・道具係 (げきに必要の道具・絵・音 (音楽) など)
- (2) 係ごとに準備をしよう
  - ・台本係・・・登場人物やストーリーが決まったら，セリフや動作を考えて，台本を考える。  
(どのような言葉や動作があれば，話が分かりやすくなるか考えよう。)
  - ・道具係・・・げきに必要の道具 (大道具や小道具)・絵・音 (音楽) を，台本係と話し合いながら考え，準備する。



#### 2 役を決めて，げきの練習をしよう

◎台本が出来上がったら，次はいよいよ役を決めて，発表の練習です。

下の3つのことに気をつけて，練習していきましょう。

- (1) セリフをしっかりとおぼえましょう  
セリフをわすれて，とちゅうでげきがとまってしまうと，せっかくのげきもいなしです。しっかりとおぼえておきましょう。
- (2) 大きな声で練習しよう  
セリフをおぼえたのに，いざやってみると後ろまで聞こえなかったり，何を言っているのか分からなかったりしたのでは，こまりますね。後ろまで声のはっきり通るように練習をしてみましょう。
- (3) 大きな動きをしましょう  
げきの中で，セリフとともに大切なものが，「大きな動き」です。あまりに小さな動きでは，うまくみんなに伝えることはできません。何をしているのかよく分かるように，動きを工夫してみましょう。



#### 3 発表をしよう

◎十分に練習をしたら，つぎは本番です。自信を持って，楽しく発表しましょう。

